

製品名: ペロキシシン 10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15981**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	PEX10
別名	PEX10; RNF69; Peroxisome biogenesis factor 10; Peroxin-10; Peroxisomal biogenesis factor 10; Peroxisome assembly protein 10; RING finger protein 69
遺伝子 ID	5192.0
SwissProt ID	O60683
免疫原	抗血清はヒト PEX10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 183-232

背景

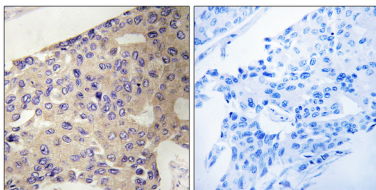
ペルオキシソーム生合成因子 10 (PEX10) ホモ・サピエンス この遺伝子は、ペルオキシソームマトリックスタンパク質の輸入に関与

するタンパク質をコードしています。このタンパク質はペルオキシソーム膜に局在します。この遺伝子の変異は、新生児副腎白質ジストロフィーからツェルウェガー症候群に至るまで、ツェルウェガースペクトルのペルオキシソーム生成疾患における表現型を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：PEX10の欠陥は新生児副腎白質ジストロフィー (NALD) の原因です[MIM:202370]。NALDは、極長鎖脂肪酸の蓄積、副腎機能不全、および精神遅滞を特徴とするペルオキシソーム生成障害 (PBD) です。;疾患：PEX10の欠陥は、ツェルウェガー症候群 (ZWS) [MIM:214100]の原因です。ZWSは、顔貌異常、肝腫大、眼異常、腎嚢胞、聴覚障害、重度の精神運動遅滞、重度の筋緊張低下、新生児けいれんを特徴とする致死的なペルオキシソーム生成障害です。生後1年以内に死亡します。;疾患：PEX10の欠陥は、ペルオキシソーム生成障害相補群7 (PBD-CG7) [MIM:602859] (PBD-CGBとも呼ばれる) の原因です。PBDは、ペルオキシソーム膜またはマトリックスへのタンパク質輸入の失敗から生じるペルオキシソーム障害のグループを指します。PBDグループは、ツェルウェガー症候群 (ZWS)、新生児副腎白質ジストロフィー (NALD)、乳児レフサム病 (IRD)、および古典的肢肢型点状軟骨異形成症 (RCDP) の4つの疾患から構成されます。ZWS、NALD、およびIRDはRCDPとは異なる疾患であり、ツェルウェガースペクトルとして知られる重複する表現型の臨床的連続体を形成します。PBDグループは遺伝的に異質であり、相補性研究から少なくとも14の異なる遺伝子群が同定されています。;機能：ペルオキシソームの生成にある程度関与している。;類似性：pex2/pex10/pex12ファミリーに属する。;類似性：RING型ジンクフィンガーを1つ含む。;サブユニット：PEX19と相互作用する。;

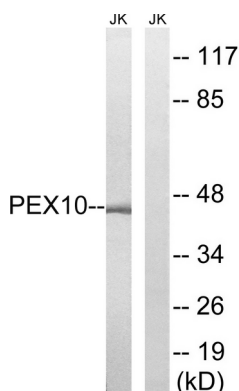
研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞内マーカー; オルガネラ; ペルオキシソーム; シグナル伝達; タンパク質輸送; オルガネラタンパク質

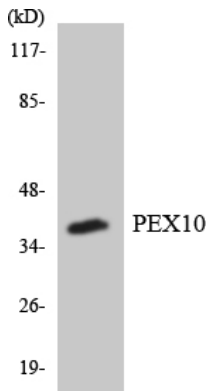
画像データ



PEX10抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



PEX10抗体を用いた Jurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PEX10 抗体を使用した 293 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。